

#3 English as a Global Language

- ・ 弱点, というよりは課題?
- ・ **Linguistic Imperialism**【言語の帝国主義 (英語帝国主義)】 →言語教育における「言語教育観としての誤解」「権力関係 (英語母語話者と英語非母語話者, 「何語を第二言語として選択するか」の判断基準など)」を生み出す装置となっている→帝国主義。(有没有中文帝国主义? 日本語帝国主義はあるか? จักรวรรดินิยมมณฑลภาษาไทยเป็นไง?)
- ・ **Unsustainability of NATIVE SPEAKERISM**
- ・ そもそも何を持って「母語話者」を定義するのか?

“Pedagogy” とは何か? 【教育哲学】新しいPedagogyの3P

Particularity: 場所性

その学びの場所はどのような場・状況でどのような人が学んでいるのか?

Practicability: 実用性

「使える」って, その場, その人にとって何を指すのか?

Possibility: (状況変革や社会変革への) 可能性

その場でその言語をそのやり方で学ぶと, どのような変化がその場所や人に起こるのか?

Inner-Outer-Expanding

フィリピンの英語の先生だった時に、「え、フィリピンの先生なの？」という反応感覚が日本にはあるような気がする。

日本語教育にも「母語話者重視」感覚はないでしょうか？